

今春新設の本荘東小など6団体が東北大会へ 秋田県吹奏 楽コン開幕

朝日新聞 > 今春新設の本荘東小など6団体が東北大会へ 秋田県吹奏楽... > 写真・図版



演奏を終え、笑顔で記念撮影をする本荘東小吹奏楽部=2026年7月12日、秋田市のあきた芸術劇場ミルハス、魚住ゆかり撮影

第68回秋田県吹奏楽コンクール（県吹奏楽連盟、朝日新聞社主催）が12日、秋田市のあきた芸術劇場ミルハスで開幕した。初日は4部門の審査が行われ、小学生小編成の部で勝平小と稲川小、小学生の部で本荘東小、大学の部で秋田、職場・一般の部で大曲吹奏楽団と秋田吹奏楽団が、9月5、6日にこの会場で開かれる東北吹奏楽コンクールへの出場を決めた。職場・一般の部では上位大会のない自由演奏もあり、M'sウィンドアンサンブルが参加した。

審査結果は次の通り。（演奏順。東北大会出場団体を除く）

◇小学生小編成の部【銀賞】中仙コスモスMusic、新山小、湯沢西小、秋田大付小【銅賞】太田ジュニアブラスバンド“Sprout”、淳城南小、雄勝小

◇小学生の部【銀賞】川尻小【銅賞】鶴舞小、十文字小

◇大学の部【銀賞】秋田工業高専

◇職場・一般の部【銀賞】NG吹奏楽団、Soleil Wind Ensemble【銅賞】能代吹奏楽団、横手吹奏楽団、秋田ムジークシュヴェルマーブラス

成長促した「フェスティヴォ」 本荘東小

この日、31～65人の大編成バンドが登場する「小学生の部」に、ニューフェースがデビューした。

今春、由利本荘市立の尾崎小の一部と、子吉小、小友小が統合されて開校した本荘東小の吹奏楽部だ。

部員は3～6年の42人。尾崎小吹奏楽部員だった約20人と、吹奏楽部のない子吉小、小友小から来た約20人の初心者とで、新バンドづくりが始まった。

最初は、声をかけても反応がない子もいた。尾崎小出身の佐藤麗部長（6年、フルート）は「一生懸命声をかけていたら、うまく話せるようになりました」と振り返る。

そんなバンドの後押しをしたのが、この日披露した「フェスティヴォ」（ネリベル）。1980年代を中心に人気を博した吹奏楽の名曲だ。

吹く人を成長させる、という評判にもひかれ、指導する運藤良和さん（62）が、「本物ほど難しくないけど、昔の名曲ならではのパワーを感じられる」という編曲版を選んだ。

楽譜に鍛えられ、部員たちは期待通りに力をつけていった。本番ではミスもあったが、金管が力強く奏でる独特の旋律がバンド全体を励まし、中間部の木管のやさしいハーモニーが、はやる心を落ち着かせた。

結果は金賞。東北大会への出場も決まった。「でも、一番の目標は2月末に予定しているコンサート。それまでに、みんなで上手に吹けるようになればと楽しみにしています」

運藤さんは、うまれて3カ月のバンドを、見やった。